

自分のまちを 守りたい

あなたにもできることがあります。

消防団員は、それぞれ自分の仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守りたい」という気持ちで活動をしています。

災害時は、消火活動や救助活動を行い、平時は、火災を起こさないための火災予防や防災啓発など、様々な場面で活躍しています。

二宮町消防団は、地域に根ざした5つの分団で組織されています。
どなたにでもできることがたくさんあります。



「自分たちのまちは、自分たちで守る。」

町内在住・在勤で18歳以上の健康な方（男女）で、消防団活動に協力して下さる方を広く募集しています。あなたも地域防災の一翼を担ってみませんか。お気軽にお問合せください。

消防団員 募集

公務災害補償制度
被服の貸与
退職報償金
表彰制度

問い合わせ
消防本部 消防課
庶務班
☎72-0015

第一分団 (川匂・釜野・越地・茶屋・梅沢)
第二分団 (上町・中町・下町)
第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)
第四分団 (中里・百合が丘1丁目)
第五分団 (一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活動している人の集まりです。

第50回神奈川県消防操法大会 第二分団出場 優秀賞

平成28年7月28日(木) 神奈川県総合防災センター(厚木市)

第50回の節目となる神奈川県消防操法大会が行われた。二宮町からは、第二分団が「ポンプ車操法の部」に出場、見事3位となり優秀賞を受賞した。

操法大会当日は快晴、絶好のコンディションの中、いよいよ40日間にわたる訓練の集大成を見せる時がきた。

町長や議会議員を初めとする町関係者および家族や消防団の仲間が見守る中、指揮者の原班長の会場いっばいに響く声で始まった。一番員の佐々木班長、二番員の河村団員の連携、動きがいい。四番員荒川班長が素早くポンプ車を操作し、第1線が放水される。タイムが早い！引き続き「第2線延長」の号令からの三番員臼井団員の走力は圧巻。あっと言う間に第2線目の放水も的を素早く捉える！タイムは今まで最速のタイムが出ていた。

競技が終り、やりきったという晴ればれとした選手達。それを労う濱井分団長の優しい笑顔が印象的だった。



1番員：佐々木智徳



指揮者：
原秀和



3番員：臼井太輔



2番員：河村悟



4番員：荒川俊介

優秀賞(3位)は、二宮町としては28年ぶりの快挙です。第二分団としては、20年に一度の操法大会出場。大会を終えて、達成感に満ちた誇らしげな団員一同の笑顔が見られました。



消防団活動の魅力

二宮町消防団長 池田昌隆



本年4月より、二宮町消防団長を拝命いたしました池田昌隆です。身に余る大役ではありますが、二宮町民の安全・安心のため微力ではありますが、精一杯努めさせていただく所存です。

さて、近年の災害は、複雑多様化、大規模化しており、中でも異常気象による集中豪雨や台風災害などは、時と場所を選ばず、どこで発生するか予測が難しくなっています。また、首都直下地震や神奈川県西部地震などの発生も危惧される中、我々消防団に寄せられる期待は、益々、大きなものとなっています。

この様な中、全国的にも消防団員が減少していることは報道等で知られていますが、二宮町でも近年、消防団員の確保には苦慮している状況で、毎年、地域の皆様にご協力を頂きながら、団員定員を確保しています。

消防団の活動は、決して生業を犠牲にして行う危険な活動ではありません。近所付き合いが希薄化している現代、消防団活動を通じて、地域の人々と顔見知りになり、多くの友人をつくることは、子育てや日常生活を営む上で非常にプラスになると思います。IT化の時代に昭和の香りを感じる人付き合い、良いものですよ。

消防団員に興味のある方は、男女を問いません。お気軽にお問合わせください。